

●編集発行 財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8 ビッグパレットふくしま3階 ☎(024)947-4400 FAX(024)947-4475

■ホームページのアドレス <http://www.techno-media.net6.or.jp>

■Eメール [テクノ] techno@nm.net6.or.jp [ニューコム] info@nm.net6.or.jp



サザンクロスとは・・・

郡山地域テクノポリスは、あたかも航海の指針となる南十字星(サザンクロス)のように「21世紀に花開く東北の時代」を先導する地域となることをめざします。

Techno Topics

「福祉」をテーマにユニバーサルデザインフェスティバル開催

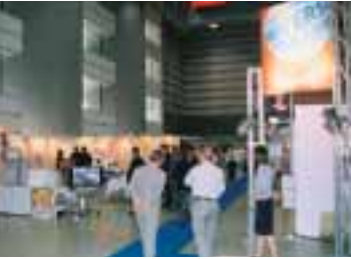


「ノーマライゼーション」、「バリアフリー」・・・それは障害を持つ人でも地域の中で普通に暮らせる社会づくりを目指す理念と、それに基づき身体的・精神的な障壁を取り除こうという考え方です。「ユニバーサルデザイン」は障害を持つ人という対象さえ乗り越え、体格・年齢・障害の度合いに関わらず、誰もが利用できる製品・サービス・環境の創造を目指すものです。

当財団ではこうした「ユニバーサルデザイン」の考えを基本コンセプトとして、福島県デザイン振興会、郡山商工会議所と実行委員会をつくり、昨年引き続き「ふくしまユニバーサルデザインフェスティバル2001」を8月31日(金)～9月2日(日)の三日間、ビッグパレットふくしまを会場に開催しました。

今年は「産業部門」、「サービス部門」、「教育部門」、「ホビーカー部門」の四部門に県内各地から83の企業、団体、個人からの出展がありました。

「産業部門」においては電気のない、荷重式の自動ドア、椅子に掛けたまま楽に昇り降りできる階段昇降機、介護用食品、電動車いす、福祉車両、床ずれ防止マット、園芸療法のためのクッスなど福祉関連商品の多彩な展示がありました。「サービス部門」では昇降式のキッチン台、介護者の負担を軽減し要介護者の移動を助ける取っ手付きのベスト、わかりやすさを追求したサイン及びディスプレイなど「ユニバーサルデザイン」の理念の下に製作された機器等が、「教育部門」においては狭い場所でも前後左右に移動できる電動車いすなど教育機関が行っている日頃の研究成果の紹介がありました。さらに趣味または本業として創作



活動に携わっている方々が出展した「ホビーカー部門」では、水引工芸品、木工品、アートフラワー、パチワークなど県内のデザイナー、工芸の裾野の広さと興行きが実感できる個性豊かな作品の展示が多数ありました。

イベント初日には、「産業部門」、「教育部門」、「ホビーカー部門」、「サービス部門」の出展作品の審査会があり、木のぬくも

国本大学工学部次世代工学技術研究センターワークショップ説明会

日本大学工学部では、その敷地内に次世代工学技術研究センター「NEWCAT」を建設中で、平成14年3月の完成を目指して今着々と工事が進められています。この施設には、X線CTやCスコop、超音波診断装置、電界放射形走査電子顕微鏡など最新鋭の機器を備え、共に施設内には各種実験室や研究室、プレゼンテーションルームなども揃えて民間への貸し出しや共同研究のための体制を充実させる予定です。

そこでテクノポリスでは、地元企業の方々に新たなビジネスチャンスを探っていただくとともに、将来の共同研究の可能性についても考えていただくため、日本大学工学部の協力を得て去る8月24日にビッグパレットふくしまを会場として「日本大学工学部次世代工学技術研究センター」を中核とする産学協同研究テーマに関する説明会を開催しました。

当日は、地元企業の技術者の方々を中心に45名が参加しました。講師には、日本大学工学部から電気電子工学科の尾股定夫教授、建築学科の出村克宣教授、物質科学工学科の西出利一教授と3人の先生方をお招きし、この研究センターで予定されている研究内容についてそれぞれ発表していただきました。多くの企業の方々も、研究テーマに関心をもち、大学との共同研究に前向きに検討したいと答えていました。

説明会以降、大学との共同研究に関心をもちた企業の方々とは、先生方との懇談会や個別相談会を既に数回開催し、先生方との活発な意見交換や情報収集をさせていただいています。新産業・新事業創出へ向けての今後の展開が期待されます。

りを活かした木製車いすを出品した(株)ウインウッドが最優秀賞の福島県知事賞が選ばれたなど、デザインの特に優れた作品15点が選ばれ、表彰されました。

会期中、来場の皆様からアンケートでお寄せいただいた貴重なご意見を活かしながら、来年度以降も「産業や地域の活性化」をデザインの実たす役割を普及定着させていきたいと考えております。



【今後実施が予定されている研究テーマ】

〔医療分野における新しい診断装置や検査技術の開発〕

①X線CT及び超音波診断装置による画像情報と生体組織の力学的な特性との相関に関する基礎的研究 ②硬さ及び血管内圧測定機能を備えた多機能型カテーテルの開発 ③遺伝子及び細胞組織などの力学的特性の解析と計測法に関する研究 ④生体組織の電気的特性及び電波の吸収特性に関する基礎的研究 ⑤生体組織のフィジオームに関する基礎的研究

〔メソスコピック及びナノメートルオーダー構造制御による新規機能材料の創出〕

①生理活性物質の分子認識に基づくナノ構造分離分析材料の開発 ②次世代LSI用薄膜材料・新規ゲート絶縁膜及び高温LSI用S₂薄膜の開発 ③新規透明導電膜の設計と合成 ④地球温暖化ガス吸着・分解材料の開発 ⑤蓄エネルギー材料としてのクラスレート水和物の研究 ⑥TiO₂ファイバーの複合材料への応用 ⑦遷移帯のナノメートルオーダーの改質によるセメント系複合材料の高性能化 ⑧N₂基超合金単結晶の変形機構解明と新高温用材料への応用

※これらの研究テーマについての
お問い合わせは、テクノ事務局
あるいは日本大学工学部へ
【日本大学工学部 電話番号】
024-956-8648



次世代工学技術研究センター「NEWCAT」完成予想図

技術者交流プラザ 活動と工場見学

6月19日、平成13年度
第一回技術者交流プラザ
幹事会が開催されました。
会議では、会長・副会長
の選任や、今後のプラザの
運営方法について話し合い
ました。

その結果、今後は幹事会
のメンバー5名程度からなる
各事業別の担当を置き、
それぞれが事業計画を立
て、活動していくこと
が、また、幹事会自体は事業
企画会議を兼ねて2ヶ月
に一回程度開催すること
を決定しました。

会長 副会長及び担当の
名称は次の通りです。
○会長 中沢一弘
(笠原工業(株) 須賀川
工場) ヒオニシステム事業
部取締役事業部長

アドホック 研究会

異業種交流の会である
郡山と須賀川のアドホック
研究会では、毎月「例会」
を開催しています。

郡山の「アドホック研究会」
では、9月6日(木)に研修
の一環で、いわき市の「東
北メタル株小名匠工場(鉄
スクラップ業)」を視察しま
した。

当日は、大澤工場長の案
内で施設内を見学し、その
規模の大きさに驚くととも
に、環境リサイクル問題
に配慮した工場運営方
法に感心し、参加者一同、
今後の工場運営に大きな
ヒントを得ることができま
した。

○副会長 伊藤俊平
(三菱電機(株) 郡山製
作所) 工作部長
○発表見学担当
○発表会 交流会担当
○研修会 講演会担当
○研究会担当

7月に入り、「工場見学
会」を実施いたしました。
7月18日には「(株)日立
テレコムテクノロジー」と日
本全業工業(株)・27日に
は「(株)東北アンリ」と
「ジョンソン・エンド・ジョン
ソン」の見学会を行いました。

参加者は「見学の対象が
精密機械・医薬品製造工
場であったので、室内のチリ
の量にまで気を配る徹底
した品質管理には目を見
張る者があった」といった
感想を述べていました。

今後も、技術者交流プラ
ザでは、各種事業を積極的
に展開して参ります。

特許流通 促進説明会

7月25日(水)ビッグパ
ルクしまにおいて「特許
流通促進説明会」が開催
されました。これは独立行
政法工業所有権総合情報
館の主催で、開放意図の
ある特許(開放特許)を企
業間及び大学・公的試験
機関と企業の間におい
て円滑に移転させ、中小
ベンチャー企業の新規事業
の創出や新製品開発を活
性化させることを目的と
しています。今回は特許流
通促進事業の総合的な学
習のためのセミナーをテ

クノボリスが協力して開催し、
テクノ圏域内企業を中心
に30名の方が参加しました。
説明会では、地位特許に
あつた特許情報の有効活用
の普及と啓蒙を図るため、技
術移転の実例を紹介しなが
ら特許流通(技術移転)のプ
ロセスや特許電子図書館を
利用した特許情報の検索
方法さらには特許情報の有
効活用についてわかりやく
説明していただきました。

エコタウン視察 秋田県大館市

県中地域環境リサイクル
研究会では、7月4日、5日
の二日間、26名が参加して
秋田県大館市内の廃棄物
処理施設を視察しました。
大館市は平成11年11月
に国から「秋田県北部エコ
タウン計画」の承認を受け、
自然にやさしい環境と調
和したまちづくりを積極
的に取り組んでいます。

最初に訪問した家電リ
サイクル工場は今年4月か
ら施行された家電リサイ
クル法に完全に対応した施
設で、施設を運営する企
業がこれまで鋳鉄や培った
金属精錬などの高い技術
力を背景に社会の要請に
的確に応えた施設という
印象を持ちました。

次に訪れた産業廃棄物
処理施設は、これまで鉱山
の採掘で使用してきた敷土
設備を、採掘の減量化後
それらをうまく活用して

リサイクル産業へと業種転
換した好例といえますよ。
最後に訪れたコンポスト
センターは、学校給食やホ
テル、スーパーなどから出る
大量の生ゴミと畜産農家
からの鶏糞、モミ殻を原料
として有機質の堆肥を作り、
ゴミの減量化を図るもので、
今年稼働したばかりの施
設です。この地域は「比内鶏」
の産地であり、鶏糞の処理
に頭を悩ませていた農家に
とても、また地場産品の
振興という点でも、待望の
施設といえます。

更に大館周辺広域市町
村組合が平成15年に完
成させるゴミの焼却施設は、
日本初めPFI(民間
資本活用)の社会資本整備
の手法により建設から運
営まですべて民間企業が
行うというもので、多方面
から注目を浴びています。

大館市が取り組んでい
る数々の先進事例から、参
加者一同多くの示唆を与
えられ、実り多い視察とな
りました。

新事業創出 セミナー開催

福島県の策定した「郡
山地域高度技術産業活性
化計画」の中心的推進母
体として位置づけられてい
る当推進機構では、計画に
掲げる重点分野のひとつ
である「福祉医療関連分野」
においての新事業創出セ
ミナーを6月8日に、ホテル
はまつで開催し80名程の
参加がありました。

当日は、講師に名古屋大
学大学院工学研究機械工
学専攻教授(前秋田大学
教授)の大日方五郎氏をお
迎えし「住民参加による福
祉の町、鷹巣町はこうして
生まれた」とのテーマで行

IT交流 プラザ活動

「IT交流プラザ」を
開催しました
「郡山地域ITリエンジニア
構」では、第一回「IT交
流プラザ」を6月15日(金)
、第二回を9月27日(木)に
ビッグパレットにおいて開催
しました。

第一回では、会員80名の
参加のもと、「郡山地域IT
リエンジニア構」や「IT交流
プラザ」の概要説明の他、
名刺交換やセッションによる
プレゼンテーションなどを行
いました。第二回は、会員70
名が参加し、第一部に、盛
岡市の(有)ネットブリッジ
代表取締役の田村俊博氏
を講師に迎え「クラウド」
と題した講演会を、第一部
では「クラウドバンド」に
ついてグループ討議・自由交
流などを行いました。

参加者は、積極的な意
見交換や自己PRなどし
て、会員相互の交流を図
っていました。今後とも会員の
要望を反映させた「IT交
流プラザ」の運営に努め
ていきたいと思えます。

政との関わりや、人にやさ
しいまちづくりと新産業の
創出を目的とした研究会
型施設となったかす(在宅複
合型)施設完成までのプロ
セスなど具体的な事例をも
とに講演をいただきました。

また、県内福祉関連産
業の動向、福祉機器に関す
る講演もあり、今後新た
な事業に取り組みようと
している方、研究開発にと
り組んでいる方など参加者
は深く興味を持ち聴講し
ていました。

最後に、福祉医療関連
分野は幅広いものの「産
学官民」、すべてが協力し
考えなければならなら
ない大きな課題であると思
えます。

プラザ」の概要説明の他、
名刺交換やセッションによる
プレゼンテーションなどを行
いました。第二回は、会員70
名が参加し、第一部に、盛
岡市の(有)ネットブリッジ
代表取締役の田村俊博氏
を講師に迎え「クラウド」
と題した講演会を、第一部
では「クラウドバンド」に
ついてグループ討議・自由交
流などを行いました。

参加者は、積極的な意
見交換や自己PRなどし
て、会員相互の交流を図
っていました。今後とも会員の
要望を反映させた「IT交
流プラザ」の運営に努め
ていきたいと思えます。

「IT」をキーワードにし
た会員制のプラザです。
各会員簿の発行をはじめ
会員のニーズを反映した交
流会や情報交換会、講師
を招いてのセミナーや勉強



IT交流プラザ

テクノリポート



郡山市の企業支援制度
今回のテクノリポートは、郡山市役所商工労働部商工振興課を訪問し、清水次長、宗形主幹、塚原係長に郡山市の企業支援制度についてお話を聞きしました。

- テクノ君 清水次長** 「このところ景気の悪い話ばかりですが、郡山市の商工業の現状はどうでしょうか?」
「郡山市だけでなく、全国的にいえることですが、個人消費の低迷に加え、生産活動の低下・産出状況の悪化など、状況は好転しておらず、今後の見通しにつきましても厳しい状況です。」
- テクノ君** 「その厳しい状況の中で、産業の振興や企業支援のために市として力を入れている、あるいは新しく始める事業はありますか?」
「郡山市では、中小企業の皆様の事業資金を円滑に供給するため、用途に応じた各種融資制度をご用意し、より使いやすい制度を目指して毎年見直しをおこなっております。特に、今年4月からISO14001の認証取得を支援していくため、テクノ研究開発振興資金に「ISO特」を設けました。」
- テクノ君 塚原係長** 「それは、具体的にどのような中身ですか?」
「ISO14001の認証取得に係る費用を融資する制度です。新規の設備導入にかかる費用を除いた運転資金、つまり登録やコンサルタントにかかる手数料等については、1000万円まで融資する制度で、融資期間は5年以上となっております。利率も低く設定しておりますので、ぜひ、積極的にご利用していただきたいと考えております。」
- テクノ君 塚原係長** 「他にどのようなものがありますか?」
「このほかに、中小企業経営合理化資金補償融資、無担保無保証融資、団体育成資金融資など各種融資制度がありますので、詳しい内容につきましては郡山市商工振興課(TEL024-924-2251)、又は郡山市内の各金融機関までご相談ください。」
- テクノ君** 「本日は、どうもありがとうございました。」

「IT交流プラザ」会員名簿(会員事業所要覧)を作成しました

現在「IT交流プラザ」の登録会員は、160名です。
会員交流の促進と会員活動を紹介するため、名簿(会員事業所要覧)を作成しました。希望者には、無料でお配りいたしますので、ぜひご活用ください。
希望者は事務局TEL 024-947-4400まで。



◆「IT交流プラザ」会員
を募集しています
「IT」をキーワードにし
た会員制のプラザです。
各会員簿の発行をはじめ
会員のニーズを反映した交
流会や情報交換会、講師
を招いてのセミナーや勉強

参加者は、積極的な意
見交換や自己PRなどし
て、会員相互の交流を図
っていました。今後とも会員の
要望を反映させた「IT交
流プラザ」の運営に努め
ていきたいと思えます。

会など、年四〜六回ほど開
催しています。
会員交流の中から、IT
関連のニードビジネス創出
や高度利用につながる「IT
交流プラザ」になればと
考えていますので、まだ登
録されていない方はぜひ
会員登録してみたいかが
でしょうか。(ITに関心の
ある方なら企業、個人を
問わずどなたでも入会で
きます。会費無料です。)

024-947-4400
FAX
024-947-4479
E-mail
info@nm.net6.or.jp
http://www.
techno-media.net6.or.jp

Techno Information

ビジネススクリーンショー東北2001

11月29日(木)、30日(金)の両日、「ビッグパレットふくしま」において、「ビジネススクリーンショー東北2001」が開催されます。

今年で第三回を迎えるこの催しは、新しい製品・技術・サービスなどを有する企業が集結し、情報発信、販路開拓・技術交流を行う場を提供することを目的として開催されるもので、150社程度の出展が予定されています。

当財団では、この催しに、15の企業団体の出展する「テクノポリスコナー」を設置いたします。

いずれも新製品の開発や技術の革新に積極的に取り組んでいる企業団体の

- ・(株)フクヤマ
「新時代の瓦」シリーフシリーズ」
- ・(株)有明
「包装資材・物流機械で生産性・省資源・環境を提案」
- ・(有)昭和サービス
「窓用通気ロックドア用通気ロック」
- ・東北「ソフト」サービス
「流水式手指洗浄器及び生ゴミ処理機」
- ・笠原工業(株)須賀川工場
「生分解性発泡成形品、小型自動フィルム結束機、自立自活の家「K-F1ハウス」」
- ・(株)コスモテック
「障害者の自立を補助するためのアタッチメント車いす」
- ・(株)坂口伝導工業
「生ゴミ処理・愛する子供達の健康と地球環境を守り」
- ・ススキ製作所
「省力化機械 機械加工品、冬虫夏草」
- ・郡山ヒートアップ研究会
「水辺の庭・ヒート理念の水系システム」
- ・郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
「郡山地域ITリエンロン機構の事業紹介」
- ・(有)郡山地域テクノポリス推進機構
「財団の事業と助成制度について」

テクノズームアップセミナー

【第13回】

テクノポリスでは、日本大学工学部との共催でズームアップセミナーを開催しています。これは大学の先生が持っている技術シーズを地域の企業の方々に広く紹介し、新しいビジネスチャンスとして活用していただくためのもので昨年の10月から開催しています。

毎月いろんな先生によって、コーヒーなどを飲みながらくつろいだり雰囲気の中でその研究内容や企業の皆さんに役立ちそうな技術を紹介していただき、参加者からの質問などにもわかりやすく答えていただいています。

今後の開催予定は次の通りです。是非お気軽にご参加下さい。

- 日時 10月23日(火) 午後1時30分～3時30分
- 場所 福島県農業試験場
- テーマ及び講師
「農業における環境問題と有機性廃棄物の利用」
福島県農業試験場 農芸化学部長 菅野忠教氏
- 「野菜栽培における環境負荷軽減技術の研究方向」
野菜部長 酒井孝雄氏
- 「水稲の直播栽培技術」
種芸部長 小林弥一氏

【第14回】

日時 11月7日(水) 午後1時30分～3時30分

場所 ビッグパレットふくしま

テーマ及び講師
「超臨界分離技術とその応用可能性について」
日本大学工学部 物質科学工学科 助教 田中裕之氏

- 日時 11月下旬予定 午後1時30分～3時30分
- 場所 ビッグパレットふくしま
- テーマ及び講師
「有機性廃棄物からのエネルギー回収に関する技術開発について」
日本大学工学部 土木工学科 教授 中村玄正氏

※参加お申し込み、お問い合わせは
テクノ事務局まで



研究開発助成制度

●各種助成制度のご案内
当推進機構における各種助成制度についてご案内いたします。受付は随時おこなっています。

- ◆債務保証制度
優秀な技術力・製品開発力がありながら、資金調達力不足により研究開発を円滑に進められない企業に対し、福島県の制度融資(新事業創造資金)融資制度ベンチャー企業育成資金融資制度と連動し無担保で2000万円まで保証
- ◆研究開発助成制度
各種研究開発活動を促進するため企業又は共同研究グループに対し研究開発費を300万円を限度に助成
- ◆地域技術起業化助成制度
複数の中小企業の協力による起業化であったり技術革新の進展に即応し

た技術を、製品開発生産等に利用するために必要な商品開発、デザイン開発、情報収集、市場開拓等の事業に対し1000万円を限度に助成

◆地域技術起業化支援制度
起業化の可能性があると認められる地域技術の商品開発、デザイン開発、需要・販路開拓等について専門機関への委託、アドバイザー派遣等により150万円を限度に支援

以上、各種助成制度の概略を紹介いたしました。助成にあたる条件等詳細につきましては、事務局までお気軽におたずね下さい。

なお、起業化に対する相談、各種研究会も行っておりますので是非ご利用下さい。

テクノ・ニュー・コムメールマガジン登録者募集

◆「テクノ・ニュー・コム」メールマガジンの配信を始めます。
(財)郡山地域テクノポリス推進機構と郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会では、11月から、メールマガジンの配信を始めます。

各種セミナーや研修会の案内をはじめ、研究開発や起業化・助成制度など、ベンチャーや新たな事業創出などに役立つ様々な情報を皆さんにお届けします。

ぜひこの機会にご登録ください。

登録は、ホームページから簡単にできます。
<http://www.techno-media.net6.or.jp>



○問い合わせ
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
TEL 024-947-4000
FAX 024-947-4475
E-mail info@nm.net6.or.jp

ニューコムちゃんのITワンポイント

このコーナーでは、素朴なITに関する疑問や、おもしろい話などを掲載していきます。

●ニューコムちゃん日記

○月×日
最近、たくさん悪質ウイルスが猛威をふるっているけどY子のパソコンはちゃんとウイルス対策してるの?
△ウイルス対策ってそもそも、どうやってウイルスから自分のパソコンを守ればいいの?
□基本的に外部からのデータの出入りが無い場合には感染は考えられないよね。気を付けなければいけないのは、メールやインターネットを使っている場合なのよ。最近の悪質なウイルスは、サーカム、コード・レッド、ニムダと呼ばれるものの被害が多いのよ。
△そのウイルスはどんなものなの?
□サーカムやニムダはウイルス付きのメールが送られてきて、感染しちゃうと自分のアドレス帳からランダムにメールを送ってしまったりするの! メールソフトがMicrosoft OutlookかOutlook Expressの場合は気を付けてね! しかも、サーカムは自分のメールアドレスにあるエクセルやワードなどのファイルを添付して送ってしまうの! その添付ファイルはウイルスに感染して、送られてきた人は友達からのメールだと思って添付ファイルを開いてしまうと感染してしまうのよ。その感染したパソコンも、また同じくらいの人にメールを出してしまう。これって恐ろしいよね! そのために、アンチウイルスソフトを早く買ったほうがいいね!
△それを買うとどうなるの?
□ウイルス駆除してくれるのよでも、毎日ウイルスは新種のものが続々と出たり、バグーンを変えてきたりするから、定期的に新しい情報に更新しないアンチウイルスソフトを入れて、定期的な時に感染してしまったりどうするの?
□でも、もしアンチウイルスソフトが無かった時に感染してしまったりどうするの?
□その時は、会社またはLANならばネットワークからPCを切り離す事早い話LANケーブルを抜けばいいの。自宅ならば、プロバイダにはダイヤルをしない、そうすれば外に出る事は無いよね。場合によっては、無償の駆除ツールがダウンロードできる場合があるのよ。トレンドマイクロ社のホームページを見れば、最新のウイルスチェックもできるよ。無料お試し版で駆除する事も出来る! でも、それは30日しか使えないから注意してね!
でも、感染しているパソコンでダウンロードすれば、その間にもどんどんメールが送られてしまったり、もし感染していないパソコンがあるのならそっちでダウンロードの方がいいね。
△そっかー、じゃー早速ウイルス(スター2001)でも買ってこなくちゃ!
△月×日
△あれ?あれ?
□どうしたの?
△突然、Excelが動かなくなっちゃった。せっかくもう少して完成だったのに!

それは大変だね。ご苦労様です。
△まったくだわー、ホント頭にきちゃう!とひあえず!パソコンの電源切らなや。
□ちょっと待ってよどうするつもりなの?
△電源ボタンを押しするに決まってるじゃないの。
□ダメダメ!直接電源を落とすのは最後の手段だよ!しかもすると何とかなるかも無い!
△何とかなるって、じゃーさっきのデータも残ってるの?
□そうではないけど、OSはきちんと正常終了させないでたんだ!下手するとパソコンが使えなくなっちゃうこともあるのよ。
△そっかー、でもどうすればいいの?
□この場合だと、Excelのアプリケーションだけがフリーズしているかも知れないから、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]を押してみる。するとプログラムの強制終了のウインドウが出るでしょ?ほらExcelの隣に[応答なし]って出てるでしょ?これを選択して、終了をクリックして見ると...ほらExcelが再び動くようになった!
△本当だ! こんな方法があったんだね。
□ところで、ちゃんとこまめに保存してたんではよ?
△えっ!?してないよ〜どうしよう...
□そっか、残念だけれどもう一度作り直したね!
△超ショックー!

○身近でこんな事がありました。など、面白い話がありましたら事務局にお聞かせ下さい。
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
E-Mail info@nm.net6.or.jp



Techno Information

第2回産・官・学連携フォーラム開催のご案内

テクノポリスではこれまで日本大学と連携しながら大学の技術シーズの公開や研修会・交流会など数々の事業を通して産学共同研究の可能性を探ってまいりました。また、平成12年4月にはテクノ事務局内に「日本大学工学部工学研究所テクノポリス技術サポートオフィス」を開設し、技術相談に応じるなど地元企業の技術力向上に資する事業を行ってまいりました。

本年は更に、企業に関心の高いタイムリーな4つのテーマについて大学の持つ技術シーズを広く地元企業の皆様に公開し、日常の業務に活用していただくとともに産学共同研究の可能性について探っていくため、日本大学工学部、郡山地域ユニメディアコミュニティ事業推進協議会との共催で「第2回産官学連携フォーラム2001」を次の通り開催いたします。是非ご参加下さい。

第1部 基調講演
13時30分～14時30分

第2部 日本大学工学部への期待
14時30分～15時40分

第3部 産学連携の現状と期待
15時40分～16時40分

野口正二氏

第4部 日本大学工学部への期待
16時40分～17時40分

第5部 産学連携の現状と期待
17時40分～18時40分

第6部 産学連携の現状と期待
18時40分～19時40分

第7部 産学連携の現状と期待
19時40分～20時40分

中沢一弘氏

第8部 産学連携の現状と期待
20時40分～21時40分

第9部 産学連携の現状と期待
21時40分～22時40分

内藤清吉氏



第3部 日本大学工学部における各課題の取り組みについて
(分科会)
15時50分～17時

第4部 ポスターセッション
17時15分～19時

第1分科会
環境課題への取り組み

第2分科会
情報技術分野の取り組み

第3分科会
医療・福祉分野の取り組み

※参加お申し込み、お問い合わせはテクノ事務局まで

パソコン研修会

参加者募集
ホームページ作成(実務基礎編)の研修会を開催します。ぜひお近くの会場で受講ください。

●対象

基本的なWindows操作のできる方

●講習時間

20時間

●受講料

3万円(テキスト含む)

●申込み・問い合わせ

郡山地域ユニメディアコミュニティ事業推進協議会

TEL 0249-474400

FAX 0249-674475

E-mail info@nu.netb.or.jp

会場

会場	定員	講座時間	日 程	ソフト
エフコムインターネットステージ(郡山市)	10人	13:30～15:30	10/22(月)・24(水)・26(金)・29(月)・31(水) 11/2(金)・5(月)・7(水)・9(金)・12(月)	FrontPage 2000
ITプラザFIC(郡山市)	20人	18:30～20:30	11/5(月)・7(水)・9(金)・12(月)・14(水)・16(金)・19(月)・21(水)・26(月)・28(水)	ホームページビルダー Ver6
パソコン教室 カクシステム(石川町)	10人	18:30～21:00	10/29(月)・31(水) 11/2(金)・5(月)・7(水)・9(金)・12(月)・14(水)	FrontPage 2000

Techno Salon

今回は、日本大学工学部教授の出村克宣さんとITリエンジニアリング推進委員でパソコンワールド代表の石井幸江さんの対談です。

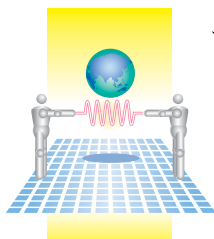
よろず相談室

日本大学工学部 出村克宣



先日、テクノポリス技術者交流フォーラムの幹事会で、最近研究を始めた材料を紹介させていただきました。この研究目的は、生分解性プラスチックの分解性を低下させないで、その機械的・物理的性質を改善しようとするものであり、生分解性プラスチックの新しい用途を見出そうとするものです。その際、建築学部の教員がどうしてプラスチックの研究をしているのかと問われました。これまで、建築材料に関する研究を行っています。構造材料から仕

上げ材料まで、建築材料は幅が広いのが特徴です。材料名を挙げれば、紙、ガラス、プラスチック、セラミックス、木材、鋼材、コンクリートなどであり、更に、接着剤や接合材などもあります。そのため、建築材料に係わらず、材料と名の付くものに興味があります。例えば、現在郡山市内の企業が取組んでいるガラスカレットを用いた化粧性傾斜機能舗装は、小生が名付け親であり、宇宙工学の分野で提唱された傾斜機能材料の考え方を舗装材に取り入れたものです。



小規模起業支援への期待

「郡山地域ITリエンジニアリング推進委員 石井幸江 (實)パソコンネットワーク代表」



志はあつても、起業するとは次の道である。経済的な壁、人脈の薄さなどを日々感じている。最近SOHO支援の助成金はないものかとネットで調べた。雇用促進の支援策は見つかったがSOHO支援の助成金はないらしい。

某女性起業家支援サイト上の京都学園大学経営学部教授大石友子氏のインタビュー記事が目留まった。

以前アメリカに研修に行きたき日本の女性起業家支援策の遅れを痛感したというアメリカの女性達の活躍を支

えていたのは、数々の行政・民間による支援策。たとえば、会社や企業家のデータベースが構築されていて、情報が得られる。コンサルティンクをはじめとする相談機関がある。さらに政府が女性起業家を含むマイリテイに投入し、決まった梓の注文を入れねばならないという努力義務を作った実行していた……等々。

大石氏の記事は女性起業家についての指摘だったが、SOHO事業者にも共通の事が言える。先輩起業家の方々には他

8月のはじめ、パソコンでメールを開いたら、短時間の間にいろいろなところから「送付された添付ファイルにウイルスを発見した。」というメッセージが送られてきました。今まで他人事と思っていただけに、たまたまの状況に「ああ、恐ろしいや、コンピュータウイルス。」でした。

最近、ウイルスが原因と思われる病気に罹り、体調不良の毎日を送っています。ウイルスの怖さをつくづく感じさせられるこの頃です。

さて、最近の産業界は、大企業のリストラや倒産が連日新聞をにぎわせ、そして失業率が5%を超えているなど、まさにウイルスにやられた重病人のようです。強力なワクチンならんと、国をはじめ地方自治体でも、企業支援や新事業創出に向けた取り組みを進めています。当テクノも各種事業を行ってまいります。でも病気の回復には、自己の免疫力を高めることも重要ではないでしょうか。新しい分野にチャレンジする活力が求められていると思います。ワクチンと自己回復力でこの経済の低迷から抜け出さなくては……。

もう10月、来年度の事業を考える時期が近づきました。こんなことをやっているかどうか、皆さんの提案を待っています。